

| | | |
|--|------|----------|
| 活動名 | 団体名 | さんらいず |
| まちづくり＝ひとづくり ～人と人との心をつなぐ～ さんさんキャンプ・5周年イベント | 地域 | 広島県広島市 |
| | 代表者 | 代表 手島 恵理 |
| | 支援金額 | 30万円 |
| 活動概要 | | |
| <p>○ゆきゆきキャンプー10月18・19日</p> <p>目的: さんさんキャンプと同じ</p> <p>内容: 湯来町で湯来の子どもたちと古民家で湯来でしか出来ない体験をする。</p> <p>テーマ: はじめまして! ～古民家で作るつながりのわ～</p> <p>○さんさんキャンプ(第10回ー11月15日/第11回ー1月17・18日)</p> <p>目的: 仲間とすごすなかで、自分のすてきなところ、仲間のすてきなところを見つけ、人との関わりを大切にする心を育む。</p> <p>内容: 日帰りや1泊2日で野外炊飯やキャンプファイヤー等のプログラム・集団生活を体験する。</p> <p>テーマ: 第10回: 力を合わせてパワーUP! / 第11回: チャレンジ!!</p> <p>○さんらいず5周年イベントー4月29日</p> <p>目的: 5周年を迎えるさんらいずは、今まで参加してくれた子どもたち、参加を決めてくださった保護者のみなさま、地域のみなさまのおかげ。その皆様に感謝の気持ちを込めて1日イベントで楽しんでもらう。</p> <p>内容: クラフト体験・自然体験・クッキング体験など体験活動を各ブースで行い、そこを回って体験・楽しんでもらう。今までの活動(キャンプ)を展示で伝える。</p> <p>◆実施時期 5周年イベント: 広島市三滝少年自然の家/ゆきゆきキャンプ: 古民家 SATOYAMA 第10回: 広島市似島臨海少年自然の家/第11回: 宮島自然公園包ヶ浦キャンプ場</p> <p>◆参加人数 5周年イベント(子ども30名/保護者等50名/スタッフ13名) ゆきゆきキャンプ(小学生11名・小学生以上13名) 第10回(小学生12名・小学生以上9名)第11回(小学生22名・小学生以上17名) 参加総人員: 177名</p> | | |



ゆきゆきキャンプ第一日 湯来町で有名なこんにやくを現地の名人の方に指導していただきながら作ります



ゆきゆきキャンプ第二日 班のメンバーと助け合ってゲットした食材を使い、オリジナルのギョーザを作ります



第10回さんさんキャンプ デイキャンプの舞台 似島の海岸で貝殻を拾い、箸置きを作ります



第11回さんさんキャンプ キャンプファイヤー 燃えろよ! 燃えろ! うたげの時間

◆実施に伴う効果

保護者からのアンケートからも「参加したことで積極的になった」「今まで一人で寝たり出来なかったのに、参加後から眠れるようになり、キャンプが自信につながったのだと思う」「次の日の準備をして寝るようになった」「家の手伝いを率先してするようになった」「これからもずっと続けてほしい」という声が多数ある。子どもの心に残るものなので、すぐに効果が見えるものではないが、実際に今年度で11回を終え、過去に参加してくれていた子どもたちが中学生になり、地域の活動に参加していたり、将来は「さんらいずにはいつて、お世話がしたい」という声を聴くことがあり、コツコツ続けていく必要性を感じる。活動を通して、関わる全ての人の心があたたかくなり、豊かになっていくのを感じる。

◆苦勞した点

外部へのPR方法が難しい。ホームページに関してプロではないので、募集をUPするのに手間取ったり、失敗したりも多かった。が、していくうちに少しずつ学んでいる。
予算では、スタッフが学生たちなので高額な自費は難しかったり、とにかく助成金に助けてもらわないと難しいので、活動しながら来年度の心配をしている。
参加者・地域の理解に関しては特に問題ない。

◆今後の課題・発展の方向性

助成金等を受けられなかった場合の方法が最大の課題。
参加費が高くなり、生活環境的に参加が難しい子どもたちが参加できないような活動にしたいのではないので悩んでいる。
団体を法人化するか、いろんなセミナーに参加して思案中です。

◆活動を終えての感想・意見等

一年間お世話になりました。イベントが終わってからのDVD作成に入るため、報告が3月いっぱいまでかかってしまって申し訳ありません。
今年度もマツダ財団さんのおかげで無事に終わることができ、多くの子どもたちに人とのつながりの大切さを感じてもらえたと思います。
来年度、残念ながらダメだったため…現在そちらの対応に悪戦苦闘しております。